

令和3年度 第1回上野原市総合教育会議 会議要旨

1. 開催日時 令和3年8月23日（月）10：00～11：25
2. 開催場所 上野原市役所2階 庁議室
3. 出席者
  - 【構成員】 村上信行市長、土屋すみじ教育長、降矢俊彦教育長職務代理、富田佳子教育委員、山崎昇教育委員、田村たえま教育委員
  - 【事務局】 市長部局：政策秘書課 守屋課長、水越政策担当L  
教育委員会部局：
    - 学校教育課：安藤課長、関戸教育総務担当L、佐渡学校教育担当L
    - 社会教育課：織田課長、川田社会教育担当L
  - 【欠席者】 なし
4. 会議内容
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 教育長あいさつ
  - (4) 議事
    - 上野原市の教育課題について
      - 【1】 学校教育課
        - (1) 学校給食費の無償化について
        - (2) ICT教育の推進について
      - 【2】 社会教育課
        - (1) 文化財常設展示施設設置について
        - (2) 桂川テニスコートの砂入り人工芝コートへの改修について
  - (5) その他
  - (6) 閉会

.....  
【会議内容要旨】

#### (4) 議 事

上野原市の教育課題について

##### 【1】学校教育課

##### (1) 学校給食費の無償化について【関戸教育総務担当L】

###### [説明概要]

学校給食費の無償化について、資料に基づき説明。食数の推移はグラフのとおりであり、現在は1,457食となっている。県内13市の無償化の実施状況であるが、富士吉田市と甲州市が完全無償化、都留市と甲斐市が一部負担、南アルプス市と北杜市は条件付となっている。一括無償化で必要となる財源は、約6千万円である。中学3年生から段階的に無償化した場合、初年度に必要な財源は約950万円となる。部分的無償化又は条件付き無償化については、資料のとおりである。

###### [主な意見等]

- ・給食費の無償化は財源が一番の課題であると思うが、市全体の取組として出来るところから実施いただければと思う。
- ・給食費の無償化は実現されればありがたいが、事業を削減するか何かをしなければ難しいと思う。何かを削減する場合にも、子どもに影響が無いように願っている。
- ・学校教育課として、当初予算で経費を削減できる見込みがあるのか。  
→教育支援員の時間数の削減や来年度スクールバスの契約の見直し時期となるので、スクールバスの効率的な運用で削減できないか検討している。
- ・給食費の無償化は私の大切な公約のひとつであるので、段階的であっても進めていきたいと考えている。

##### (2) ICT教育の推進について【佐渡学校教育担当L】

###### [説明概要]

ICT教育の推進について、資料に基づき説明。小中学校のICT環境については資料のとおりとなる。また、支援体制は現在GIGAスクールサポーターを4名配置している。1学期には家庭への持ち帰りを試行したが、2学期以降は本格実施を考えている。

令和3年度の総合学力調査結果については、資料のとおりとなる。

###### [主な意見等]

- ・各家庭のICT環境は、現在どうなっているのか。

→6月末時点では95.6%の家庭でICTが活用可能であった。その後聞き取り調査や接続状況アンケート等を実施する中で、現在は16世帯(23人)で環境が整っていない状況である。連絡が取れない家庭もあるので、引き続き支援していきたい。

・資料にはパソコンを文房具のように活用したいとあるが、家庭でも安心して利用できるよう対応と補償をお願いしたい。

・ベネッセの総合学力調査の達成率で、国語の値が低いのが気になる。一人一台パソコンを活用して、各児童・生徒の苦手を解決するために活用をお願いする。また、生きるために必要な力は何なのかというのも先生方には考えて教えていただければと思う。

・16世帯(23人)にはWi-Fi環境の早期整備をお願いする。

・学力の向上について、教育委員会として今後どうしていくのか。

→改善策を学校側と共に考えていく必要があると思っている。同時に家庭学習も重要である。ベネッセのミライシードという機能では、個々に併せて学習ができる。塾に通わなくても学習できる環境を整えていきたい。

・今年度は「ICT教育元年」と位置づけ、取り組んでいるところである。今後も学校側と連絡を密にし、社会を生き抜く力を育む教育体制の充実に向けて取り組むようお願いする。

## 【2】社会教育課

### (1) 文化財常設展示施設設置について【川田社会教育担当L】

#### [説明概要]

文化財常設展示施設設置について、資料に基づき説明。市公共施設マネジメント計画を踏まえ、文化財常設展示施設については極力経費の低減に努める方向で既存施設の有効活用を比較検討してきた。旧勤労青少年ホーム、市文化ホール、庁舎1階展示室、廃校舎等を検討する中で、無生野の大念仏がユネスコ無形文化資産に登録される見込みであることから、旧桜井小学校を候補として考えている。秋山地区の場合には、過疎対策事業債やユネスコ無形文化資産関連補助金が活用できる。また、その際には施設の複合利用をしていく。

#### [主な意見等]

・文化財常設展示施設がなぜ今まで無かったのか不思議である。子どもが地域の歴史・文化を学ぶことは大事である。そのためにも、展示施設の設置を実現していただきたい。

・祭りがあるから地域に帰ってくる人も多い。今は伝統文化が地域を守ることに

繋がる。展示施設の設置は大事である。

→長年の課題であり進めていきたいが、教育振興計画に盛り込みながら財源的な課題を解決していきたい。

・過疎対策事業債の状況はどうか。

→先日の政策担当とのヒアリングの結果、各部署との調整が課題であると認識した。庁内調整や議会等へも説明しながら進めていきたい。過疎債を活用する場合にも、令和4年度以降の計画計上を考えている。

・文化財常設展示施設の設置は、議員時代にも取り組んだこともあり私の公約でもある。ただ、場所については議会や市民の共通理解が大切である。そのことを基本に進めていただきたい。

## (2) 桂川テニスコートの砂入り人工芝コートへの改修について【川田社会教育担当】

### [説明概要]

桂川テニスコートの砂入り人工芝コートへの改修について、資料に基づき説明。平成29年第4回定例会において、人工芝コートへの改修請願が採択され、調査等を進めてきたが、財源的な問題もあり他の事業を優先してきた。近年管理施設の増大に伴い、テニスコートの整備も行き届かなくなり、年に数回転倒するケースが発生しているとの報告を受け、改修する必要性が高まった。利用率の向上を考え、砂入り人工芝テニスコートと併せてフットサルコートとの兼用を視野に改修していきたい。

### [主な意見等]

・テニスコート横の野球場をよく利用していたが、フットサルも利用できるということであれば、利用率の向上が期待できるのではと思う。

・スポーツする人も減っている。施設整備によりスポーツ人口を増やすことに繋がるのではと思う。

・夜間照明は設置しないとのことであるが、それは費用の問題か。

→試算したところ、2千500万円から3千万円程かかる。大人の利用を考えると夜間照明があった方が良いが、近隣市の施設との相互利用で補えればと考えている。

・議会で承認された懸案事項でもあり、利用者の安全面への配慮を第一優先とし、早急の対応が望ましいと思っている。

#### (5) その他

- ・第2回の総合教育会議では、教育振興基本計画の内容について協議する予定である。
- ・市の財政状況は厳しい。財源確保に向けて政策秘書課でも取り組んでいるが、教育委員の皆様にも良い提案があれば願います。